

要約筆記者養成講座 カリキュラム(案)

| 回数 | 講義日 | 講 | 教科名 | 指導内容 |
|----|-------|----------|-------------------|---|
| 1 | 4月28日 | 1 | 聴覚障害の基礎知識 | 聴こえの仕組みと聴覚障害、聴覚補償 聴覚障害者のコミュニケーション 中途失聴・難聴者の現状と課題 |
| 2 | 5月12日 | 2 | 要約筆記の基礎知識 I | 難聴者運動と要約筆記の歴史 要約筆記事業の位置づけ 通訳としての要約筆記 |
| 3 | 5月19日 | 3 | 日本語の基礎知識 | 日本語の特徴 日本語の表記 日本語の語彙と用法 |
| 4 | 5月26日 | 4 | 要約筆記の基礎知識 II | 要約筆記の目的と三原則 要約筆記の表記 P40～41 ソフトのインストール |
| 5 | 6月2日 | | | 基本的な表記 単語登録 |
| 6 | 6月9日 | 5 | 話しことばの基礎知識 | 話しことばと書きことば P50～51 話し言葉の特徴と活用・同時性 P52～55、58 |
| 7 | 6月16日 | | | 短く表現する技術 P54～55、P59～60 共有情報 P56～57、P61 |
| 8 | 6月23日 | | | 情報を判断して伝える方法(PP) 三原則の総合実技実習 |
| 9 | 6月30日 | 6 | 社会福祉の基礎知識 I | 日本国憲法基本的人権の尊重 社会福祉の理念と歴史 【実技】学んだことをいかして入力する① |
| 10 | 7月7日 | 8 | 社会福祉の基礎知識 II | 障害者福祉の概要と施策の現状 聴覚障害者の福祉施策の現状 障害者権利条約 【実技】学んだことをいかして入力する② |
| 11 | 7月14日 | 9 | 伝達の学習 | コミュニケーションの基礎理論 情報保障の基礎理論 伝達実践技術実習 |
| 12 | 7月21日 | 10 | 要約の学習 | 要約の定義と意味 情報伝達における要約 要約実践技術実習 |
| 13 | 7月28日 | 11 | チームワーク | 使用機器、ネットワーク 各担当の役割 チームワークの技術 |
| 14 | 8月4日 | | | 交代の意味と方法 チームでの動き方 |
| 15 | 8月18日 | 11 12 | チームワーク ノートテイク | 幅広い関係、対応力の育成 ノートテイクの方法、技術 |
| 16 | 8月25日 | 12 | ノートテイク | ノートテイクの留意点 目的に応じた書き方 |
| 17 | 9月1日 | | | 場面对応 利用者のニーズへの対応 P62～63 |
| 18 | 9月8日 | 13 | 対人援助 | 中途失聴・難聴者の臨床心理 カウンセリングの基礎理論、対人支援 |
| 19 | 9月15日 | 15 | 関係入力 | 関係入力の手法 役割分担 |
| 20 | 9月22日 | 15 | 関係入力 | 交代の方法 関係入力の注意点 |
| 21 | 9月29日 | 14 | 要約筆記者のあり方 実技練習 | 心構えと倫理、要約筆記者・社会福祉従事者としての専門性 総合練習 |

(10/6日 予備日)